講義シラバス

科目名	関係法規 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	阿部 弘	講師 プロフィール	1979年 中央大学法学部卒業 法学士 同年 北海道拓殖銀行入行(10店舗を経験し本部では法務を担当) 1998年 拓銀破綻の為、北洋銀行に転籍(東京支店副支店長) 2001年 北洋銀行を退職し起業・独立 (株)フォーティフォー、Future Createを経営する傍ら 専門学校などの講師を務め現在に至る。行政書士試験、宅地建物取引主任者試験合格						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験「関係法規」の内容を習得する。									
【学習内容】									
美容師国家試験「関係法規」の内容をテキストとワークブックを用いて指導。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容師国家試験「関係法規・制度」テキスト ワークブック・プリント					ワークブックなどの復習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】 ※オリエンテーション 美容師試験の全体像 「関係法規」の全体像の説明 テキスト構成・授業の留意事項の説明 小テスト①				⑨ (6/19)	【到達目標】 第4節 施設(理容所・美容所)に関する規定① 美容所の開設 検査確認、変更の届出 ※ワークブック演習 小テスト⑨			
② (4/24)	【到達目標】 第1章 法の概要 第1節 社会生活における法の役割 第2節 法の形式 第3節 衛生法規の概要 第4節 理容師法・美容師法と付属法令 小テスト②				⑩ (6/26)	【到達目標】 第4節 施設(理容所・美容所)に関する規定② 開設者が講ずべき衛生措置 美容所以外の業務 ※ワークブック演習 小テスト⑩			
③ (5/8)	【到達目標】 第2章 衛生行政の概要 第1節 衛生行政の意義と歴史 第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 第3節 衛生行政を担う行政機関 ※ワークブック演習 小テスト③				⑪ (7/3)	【到達目標】 第4節 施設(理容所・美容所)に関する規定③ 第5節 立ち入り検査と環境衛生監視員 第6節 違反者等に対する行政処分 ※ワークブック演習 小テスト⑪			
④ (5/15)	【到達目標】 第3章 理容師法・美容師法 第1節 目的 第2節 用語の定義 小テスト④				⑫ (7/17)	【到達目標】 第7節 罰則 第4章 関連法規 理容業・美容業の衛生に関する法律 ※ワークブック演習 小テスト⑫			
⑤ (5/22)	【到達目標】 第3節 Ⅲ(理容師・美容師)に関する規定① 概説 美容師試験 ※ワークブック演習 小テスト⑤				⑬ (7/24)	【到達目標】 第4章 関連法規 理容業・美容業の業の振興に関する法律 理容業・美容業の雇用に関する法律 理容業・美容業の消費者保護に関する法律 ※ワークブック演習 小テスト⑬			
⑥ (5/29)	【到達目標】 第3節 Ⅲ(理容師・美容師)に関する規定② 美容師免許に関する規定 免許を受けてから変更等の手続きp81 ※ワークブック演習 小テスト⑥				⑭ (8/21)	【到達目標】 総まとめ 定期試験対策			
⑦ (6/5)	【到達目標】 第3節 Ⅲ(理容師・美容師)に関する規定③ 美容師の義務 業務停止・取り消し・再免許 ※ワークブック演習 小テスト⑦				⑮ (8/28)	【定期試験】50 定期試験と解説			
⑧ (6/12)	【到達目標】 第3節 Ⅳ(理容師・美容師)に関する規定④ 管理美容師 ※ワークブック演習 小テスト⑧				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	衛生管理Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	沖田史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師として衛生管理の授業を担当しています。						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験に向けた基礎知識の理解を深める。
国家試験の過去問題を理解し、解けるようになる。

【学習内容】

「公衆衛生、環境衛生」「感染症」「衛生管理技術(消毒法)」について、教科書を中心として解説をし、練習問題を行う。国家試験に向けて過去の出題を参考にポイントを整理し確認して行く。

【使用教科書・教材・参考図書】

衛生管理の教科書・授業で配布したプリント

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/17)	公衆衛生とは何か、歴史を学び、公衆衛生の歩みについて理解できる。公衆衛生の第一線機関としての役割を担っている保健所のはたらきと、美容師の関わりについて知識の習得ができる。	⑨ (6/19)	主な感染症について感染経路別による疾患について理解できる。空気・飛沫を介して感染する感染症、飲食物を介して感染する感染症について知識が習得できる。
② (4/24)	公衆衛生の中の母子保健、成人・高齢者保健について知識が習得できる。	⑩ (6/26)	主な感染症について感染経路別による疾患について理解できる。血液を介して感染する感染症、動物・節足動物を介して感染する感染症について知識が習得できる。
③ (5/8)	成人・高齢者保健、精神保健について知識が習得できる。	⑪ (7/3)	消毒とは何か、消毒の意義について理解できる。消毒に関連のある法規について知識が習得できる。
④ (5/15)	環境衛生とは何か、目的や意義を学習し、空気環境と人の健康の関わりについての知識が習得できる	⑫ (7/17)	消毒法の適応上の注意についての知識が習得できる。理学的消毒法(煮沸・蒸気・紫外線)について知識が習得できる。
⑤ (5/22)	人が生活を送るうえで必要不可欠な衣服、住居の衛生、及び上下水道や廃棄物処理について学習し、知識が習得できる。	⑬ (7/24)	化学的消毒法(エタノール・次亜塩素酸ナトリウム・逆性石けん・両性界面活性剤・グルコン酸クロルヘキシジン)についての知識が習得できる。
⑥ (5/29)	環境衛生のなかでさまざまな感染症の原因となる衛生害虫やネズミについてや環境保全について知識が習得できる。	⑭ (8/21)	各種消毒薬、消毒薬希釈法、器具の使い方について知識が習得できる。希釈液を作るときに必要な計算ができるようになる。美容所の消毒の実際について理解できる。
⑦ (6/5)	感染症と人間の社会生活、人と感染症の歴史が理解できる。感染症と法律、感染症の分類についての知識が習得できる。	⑮ (8/28)	【定期試験】60 公衆衛生・環境衛生・感染症・衛生管理技術(消毒法)の衛生管理全範囲で筆記試験
⑧ (6/12)	【到達目標】 感染症の原因となる病原微生物についての知識が習得できる。感染症の予防について理解し、知識が習得できる。		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
【履修に当たっての心構え・留意点】			

講義シラバス

科目名	保健Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	岡田弥生	講師 プロフィール	母であり、看護師でもあるのでいろいろな意味で皆さんのペルの母になれたらいいです。						

【授業を通じての到達目標】

美容業に従事する者にとって密接な関係にある保健について内容を十分に理解し、知識を得る。国家試験に向けてポイントを整理することができる。

【学習内容】

美容師に必要なの人体の構造と機能、皮膚科学を理解し、授業をとおして知識を習得していくことができる。教科書、プリントなどを用い、適宜小テストなどを行う

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具・指定教科書・シラバス・配布資料・各自使用道具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
(1) (4/17)	【到達目標】 自己紹介を通してを互いを理解していく。なぜ保健の学習が必要か理解する	(9) (6/19)	【到達目標】 皮膚付属器の構造について理解する
(2) (4/24)	【到達目標】 頭部、顔部、頸部の体表解剖学、骨格系について理解する	(10) (6/26)	【到達目標】 皮膚の循環器と神経系について理解する
(3) (5/8)	【到達目標】 筋系、神経系感覚器について理解する	(11) (7/3)	【到達目標】 皮膚と付属器の生理機能について理解する
(4) (5/15)	【到達目標】 血液免疫系循環器系の知識を深め理解する	(12) (7/17)	【到達目標】 皮膚と付属器官の保健について理解する
(5) (5/22)	【到達目標】 呼吸器系の成り立ちについて理解する(学習後確認テストの施行)	(13) (7/24)	【到達目標】 皮膚と付属器官の疾患について理解する
(6) (5/29)	【到達目標】 消化器官の働きについて理解し知識を深める。	(14) (8/21)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習し定期テストテストに備える
(7) (6/5)	【到達目標】 これまでの授業の内容を理解しているか復習、確認。	(15) (8/28)	【定期試験】50 人体の構造及び機能、皮膚科学から出題。
(8) (6/12)	【到達目標】 皮膚の構造について理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)	
【履修に当たっての心構え・留意点】			
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

講義シラバス

科目名	香粧品化学 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						

【授業を通じての到達目標】

国家試験合格に向けて香粧品化学を学ぶ。美容の技術を行う際に、器具と同様に多用するものが香粧品である。香粧品を取り扱う上で、使用上の注意を守り品質の管理と安全性を確保するために正しい知識を身に付ける。

【学習内容】

香粧品とは何かを学び、品質管理、安全性を確保するための知識を身に付ける。また香粧品の成り立ちについても理解する

【使用教科書・教材・参考図書】

香粧品化学教科書、筆記用具、ノート(ルーズリーフ可)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/17)	【到達目標】 香粧品総論 香粧品とは何かを考え理解する 身の周りの香粧品と学ぶ目的を理解する	⑨ (6/19)	【到達目標】 香粧品の成り立ち その他の機能性配合原料について 雑貨原料について 重要ポイントを理解する
② (4/24)	【到達目標】 香粧品を使用する際に気をつけること 香粧品の定義と安全性、安定性について学ぶ	⑩ (6/26)	【到達目標】 香粧品各論 スキンケア製品について 香粧品の効果と使用プロセスについて クレンジング香粧品の種類と特徴について理解する
③ (5/8)	【到達目標】 香粧品の成り立ち 水と親水性溶媒について 油性原料の油脂について理解する	⑪ (7/3)	【到達目標】 香粧品各論 ヘアクレンジング用香粧品、ヘアコンディショニング用香粧品について 種類と特性について理解する
④ (5/15)	【到達目標】 香粧品の成り立ち 油性原料について ロウ類、炭化水素、その他の油性原料の機能について理解する	⑫ (7/17)	【到達目標】 香粧品各論 トリートメント用香粧品について 種類と特性について理解する
⑤ (5/22)	【到達目標】 香粧品の成り立ち 界面活性剤について 基本的性能、界面活性剤の種類について理解する	⑬ (7/24)	【到達目標】 メイクアップ製品について メイクアップ製品の種類と特性について理解する
⑥ (5/29)	【到達目標】 香粧品の成り立ち 高分子化合物について 種類と特性について理解する 色材について種類と特性について理解する	⑭ (8/21)	【到達目標】 定期試験に向けて問題を解く、文章を読む、それぞれの到達度を理解する
⑦ (6/5)	【到達目標】 香粧品～香粧品の成り立ちについて 振り返りと重要ポイントの確認を行う	⑮ (8/28)	【定期試験】50 (四択問題、60問の出題、1問1点の60点満点)
⑧ (6/12)	【到達目標】 香粧品の成り立ち 香料と製品を安定させる配合原料について理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業中の携帯の使用は禁止。必ずノートに記入すること。

講義シラバス

科目名	美容技術理論Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	飯嶋美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就く。これまでの国家試験科目を含む実技授業・指導の経験を活かした内容の授業を心掛け、現在は美容技術理論を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験に向けた基礎知識の理解を深める。国家試験の過去問題を理解し、解けるようになる。

【学習内容】

国家試験になぜ実技と筆記があるのか考える。1年次に学んだ学習内容の基礎知識を強化し、美容師としての幅広い技術と理論を学び、国家試験の過去問題と出題傾向に関連づけた解説を中心に行う。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

美容技術理論①教科書、B5判ノート(理論専用ノート)、筆記用具、

教科書の写真・図の理解を深める。ワークブック過去問対策(コピー使用)

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/15)	【到達目標】 美容技術に必要な人体各部名称と作業姿勢、美容用具の特徴・目的を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑨ (6/24)	【到達目標】 ヘアセッティング① <オリジナルセット～コムアウト><カールとウェーブの名称・種類・方向性・ベースの種類>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。
② (4/22)	【到達目標】 シャンプー① <目的・種類・成分・注意事項・サイドシャンプー・バックシャンプー>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑩ (7/1)	【到達目標】 ヘアセッティング② <ピンニング・ヘアウェービング・ブロードドライ・バックコーミング・ウィッグとヘアピース>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。
③ (5/13)	【到達目標】 シャンプー② <リンス・コンディショナー・トリートメントの違い・成分、スキャルプトリートメント>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑪ (7/8)	【到達目標】 パーマントウェーブ① <毛髪の構造とウェーブ形成の仕組み、パーマ剤の種類>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。
④ (5/20)	【到達目標】 ヘアデザイン <錯覚現象を活かしたデザインとバランス>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑫ (7/15)	【到達目標】 パーマントウェーブ② <パーマントウェーブ技術の手順、注意事項、縮毛矯正>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。
⑤ (5/27)	【到達目標】 ヘアカッティング① <目的、正しい姿勢、美容刃物、基礎理論>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑬ (7/22)	【到達目標】 ヘアカラーリング <ヘアカラーの種類とタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本、ヘアブリーチのポイント>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。
⑥ (6/3)	【到達目標】 ヘアカッティング② <ベーシックなカット技法、シザーズとレザーによるカット技法>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。	⑭ (8/19)	【到達目標】 <定期試験対策> 美容技術理論①教科書全般より定期試験対策として重要ポイントの強化、理解を深める。
⑦ (6/10)	【到達目標】 理解度確認テストに向けた復習(解説)1～6週目の授業内容の強化で理解を深める。	⑮ (8/26)	【定期試験】60点 <定期試験> 4択問題を中心に行い、読解力と応用力を鍛えることを目的とする。
⑧ (6/17)	【到達目標】 <理解度確認テスト> 各章のこれまでの理解度と弱点を自覚する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!

講義シラバス

科目名	国家試験対策講座	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	大澤 慶太	講師 プロフィール	原宿ベル第1期卒業。美容師、ヘアメイクを経験し、現場で働きながら原宿ベルの講師として教育に携わり様々な授業を担当してきました。現在は座学の授業を主に担当。						

【授業を通じての到達目標】

国家試験筆記合格に向けて必要な知識を身に付ける
筆記試験の課目を理解し、問題を解くことに必要な知識を学び、過去問題の理解を深める

【学習内容】

美容師国家試験に向けて、それぞれがどう学ぶべきか考える。問題を読むこと、解くことになる。国家試験の問題について傾向を知り、理解することで、考える力を身に付ける。

【使用教科書・教材・参考図書】

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

国家試験過去問題

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/15)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験に合格するために、自分自身どう取り組むかを考える 初回持ち物は筆記用具のみ	⑨ (6/24)	過去問題を解くことで、文章を読むことになれる 問題の解き方を理解し、習慣化する
② (4/22)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う	⑩ (7/1)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う
③ (5/13)	過去問題を解くことで、文章を読むことになれる 問題の解き方を理解し、習慣化する	⑪ (7/8)	過去問題を解くことで、文章を読むことになれる 問題の解き方を理解し、習慣化する
④ (5/20)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う	⑫ (7/15)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う
⑤ (5/27)	過去問題を解くことで、文章を読むことになれる 問題の解き方を理解し、習慣化する	⑬ (7/22)	過去問題を解くことで、文章を読むことになれる 問題の解き方を理解し、習慣化する
⑥ (6/3)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う	⑭ (8/19)	国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う
⑦ (6/10)	過去問題を解くことで、文章を読むことになれる 問題の解き方を理解し、習慣化する	⑮ (8/26)	【定期試験】60 過去問題を活用した過去問題
⑧ (6/17)	【到達目標】 国家試験の筆記試験の内容について理解する 国家試験合格に向けた重要事項を理解する 過去問題の解説を行う	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅲ (ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。
ワインディングの基礎的技術を身につけて、全体のバランスを正確に収めるようになり、かつ完成時間を短縮することができる。

【学習内容】

オンベース 1/2オフベース シンメトリーを正確に収める技術を身につける

【使用教科書・教材・参考図書】

WD用具一式 プリント 筆記用具・名札

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】 ブロッキング 2本線 センターのスライス幅 シェープが正確に出来る	⑨ (6/20)	【到達目標】 左BS 姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る
② (4/25)	【到達目標】 センターを真つすぐ収められ オフベース オフベースを正確に巻くことができる	⑩ (6/27)	【到達目標】 左BS 姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る
③ (5/9)	【到達目標】 ロッド幅に毛を広げられる 1本 25秒	⑪ (7/11)	【到達目標】 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 23分
④ (5/16)	【到達目標】 センター 面に艶があり平行に収められている 1本 24秒	⑫ (7/18)	【到達目標】 全体のバランスを見ながら 正確にロッドを収められている 全頭 23分
⑤ (5/23)	【到達目標】 センター 面に艶がありバランス良く収められている 1本 23秒	⑬ (7/25)	【到達目標】 オンベース オフベース シンメトリー 面の艶を意識し、 全体のバランスが良く収められる 全頭 22分
⑥ (5/30)	【到達目標】 フロント 右BS上巻きの姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る 1本 22秒	⑭ (8/22)	【到達目標】 オンベース オフベース シンメトリー 面の艶を意識し、 全体のバランスが良く収められる 全頭 22分
⑦ (6/6)	【到達目標】 右BS下巻きのスライス ステム ラウンドが 正確に出来る 1本 21秒	⑮ (8/29)	【到達目標】 オンベース オフベース シンメトリー 面の艶を意識し、 全体のバランスが良く収められる 全頭 22分 時間内完成
⑧ (6/13)	【到達目標】 右BS スライス ステム ラウンド 面 ゴムの掛けが正確に、バランス良く収められている 1本 20秒	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容実習Ⅱ (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	園田 翔太郎 藤 なつき	講師 プロフィール	美容専門学校卒業後、サロンにてアシスタント・スタイリストとしての経験を積み、ベルエポックで学生教育にも携わる。国家試験科目の授業を担当し、国家試験合格に向けて学生をサポートしていきます。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。オールウェーブ7段構成全頭をバランスよく作れるようになり、かつ完成時間を短縮することができる。									
【学習内容】									
正確なウェーブ幅、テンションの効いた艶のあるウェーブ、リッジ、7段と縦3等分のバランスの良い作品を確認作業を行いながら学び合格基準に近づけていく。ピンカールを反復練習により技術力を高めていく。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
AW道具一式・タオル4～5枚 筆記用具・雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)					各回、宿題提出あり				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/16)	2年次の授業の進め方について、ルールの再確認 衛生項目について触れ、実践できる 額の強化(スピード、バランス)、右リフトカールができるようになる				⑨ (6/18)	額15分以内・全頭34分 額のスピード強化 減点されないウェーブ、3等分のバランスで作れるようになる。			
② (4/23)	額22分以内 右リフトカールがきれいに作れるようになる(1個40秒) 左リフトカールの作り方を理解する				⑩ (6/25)	額15分以内・全頭33分 額のスピード強化 減点されない正確なカールを作れるようになる。			
③ (5/7)	額20分以内 割れないウェーブができるようになる 減点されない右リフトカール、左リフトカールが作れるようになる				⑪ (7/2)	全頭32分 ウェーブ、カール、苦手部分を練習し、できるようになる。 スピード強化、正確な額を作れるようになる。			
④ (5/14)	額19分以内 減点されないリッジが作れるようになる 6段目リッジ、クロックノールカールが作れるようになる				⑫ (7/9)	全頭31分 ウェーブ、カール、苦手部分を練習し、できるようになる。 バランスを意識した作品を作れるようになる。			
⑤ (5/21)	額18分以内 3等分の良いバランスがとれるようになる 各カールの復習 メイボールカールが作れるようになる				⑬ (7/23)	全頭30分 ウェーブ、カール、苦手部分を練習し、できるようになる。 バランスを意識した作品を作れるようになる。			
⑥ (5/28)	額17分以内・全頭完成 カール総復習、全てのカールの作り方が理解できる 全頭の流れを理解することができる				⑭ (8/20)	全頭30分 定期試験に向けて、スピード強化・バランスの良い作品を作れるようになる。			
⑦ (6/4)	額16分以内・全頭38分以内 部分ごとのスピード強化ができる ウェーブ、リッジ、カールの完成度を高めることができる				⑮ (8/27)	◎全頭30分 国家試験合格基準の減点されない全頭を作れるようになる。 衛生のルールを理解して実践できる。			
⑧ (6/11)	額15分以内・全頭36分以内 部分ごとに完成度を高めることができる 中間チェック、全頭を作ることができる				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
忘れ物、宿題未提出は小テストより減点します。 授業に取り組む姿勢が良くない場合も減点となります。									

講義シラバス

科目名	美容実習 I (カット)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	村上敬子 中山里美	講師 プロフィール	札幌の美容学校を卒業後、関東のサロンでカラーリストとして勤務。その後札幌のサロンで経験を積んだのち、ベルエポックに勤務。主に国家試験科目に携わる。学生時代はワインディングコンテストで受賞経験あり。学生技術大会ではグラデーションカットを担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容師国家試験の基礎知識、技術を積極的に学ぶ姿勢を身につけ、国家試験合格を目指す。
カットの基礎知識、技術を身につけて、国家試験課題のレイヤーカットスタイルを正確に理解することができる。

【学習内容】

ブロッキングからカットの全工程の順序・パネルの角度などを学びながら、カットの基本姿勢・基本動作を振り返る。

【使用教科書・教材・参考図書】

カット道具一式、国家試験カット用コーム、国家試験用カットウィック、筆記用具、油性ネームペン、絆創膏、タオル、カットテキスト(開校後配布)

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

カットテキストの理解・復習、各自の弱点トレーニング

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】ブロッキングの手順を理解出来るようになる。 授業内容の説明。作業準備、作業手順の確認。 ブロッキングを6分以内に仕上げる。	⑨ (6/20)	【到達目標】セクション毎の自分の弱点を理解出来るようになる。 2人ペアでセクションカットをしながら、お互いの苦手なところ得意なところを確認。 全頭カット40分間。 セクション通過タイムを意識してカットする。
② (4/25)	【到達目標】ガイドラインのカットの順序を理解出来るようになる。 ブロッキングの振り返り、タイムアップ ガイドラインの切り方を確認しながら仕上げる。 各セクションの名称を暗記する。	⑩ (6/27)	【到達目標】全頭35分でカット出来るようになる。 各セクション毎に注意点を説明。 意識してセクションカットを仕上げる。 全頭35分間カット。 カット終了後のチェックカットの説明。
③ (5/9)	【到達目標】第3ブロックのカットの順序を理解出来るようになる。 ブロッキング、ガイドラインの復習 第3ブロックの切り方を理解し、作業姿勢、パネルの角度、スライス線を学ぶ。	⑪ (7/11)	【到達目標】自分の癖を理解して正しい姿勢でカット出来るようになる。 カット終了後、ブロッキングを取り直して作品の完成状態を自分で確認する。 全頭カット35分間。時間内に完成させる。
④ (5/16)	【到達目標】第2ブロック、第1ブロックのカットの手順を理解出来るようになる。 ブロッキング、ガイドライン、第3ブロックまでの復習。 第2ブロック、第1ブロックの切り方の説明。 サロンワークのカットと受験のカットの違いを学ぶ	⑫ (7/18)	【到達目標】自分の弱点を理解して正しくカット出来るようになる。 2人ペアでオンペースの確認。 全頭カット30分間にチャレンジ。
⑤ (5/23)	【到達目標】フロントガイド、両サイドのカットでの順序を理解出来るようになる。 フロントガイドのブロッキング、切り方、両サイドの切り方の学ぶ。 長さの計測、チェックカットを学ぶ	⑬ (7/25)	【到達目標】全頭を30分でカット出来るようになる。 定期試験内容の告知。 夏休み前トレーニング 全頭を30分以内にカットし、仕上がりの完成度を上げる。
⑥ (5/30)	【到達目標】全工程をカット出来るようになる。 テキストを確認しながら、デモを見ながら全頭をカットする。 苦手な部分を自覚する。	⑭ (8/22)	【到達目標】全頭カット30分以内完成。 定期テストに向けてトレーニング。 わからないところを質問して、理解を深める。
⑦ (6/6)	【到達目標】タイムを意識してカット出来るようになる。 セクション毎のデモをみながら、タイムを意識してのカット。 タイム表の配布。時間がかかっている部分を自覚する。 第3ブロックのカットラインのチェックの仕方を説明。	⑮ (8/29)	【定期試験】60 全頭カット30分間 時間内に完成すること。 レイヤーのつながりが正しく出来ているか ヘムラインのつながりが正しく出来ているか
⑧ (6/13)	【到達目標】全頭カットを40分間で出来るようになる。 セクションカットでタイムアップをしてから、全頭カット40分間にチャレンジする。 レイヤーカットとセイルングカットの違いを考える。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業出席、遅刻、忘れ物、身なりの自己管理。
国家試験に向けて準備をしていく。

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	土井 恵美	講師 プロフィール	大阪で美容師スタイリストを経験後、滋慶学園福岡ベルエポック美容専門学校に入職。札幌ベルエポック美容専門学校に異動後は全学科の教務を担当。コンテスト経験も多数あり。美容実習・美容技術理論の資格も保有しており、授業を担当もできるが、現在は担任として国家試験合格、就職内定までのサポート業務をメインで担当している。						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アーティスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。
業界の即戦力として永く活躍できる人材になる。
美容師国家試験合格のため衛生や受験に関する知識を積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。また業界から選ばれる人材になり、就職内定に結びつける。

【学習内容】

就職活動についての知識、マナーを学び、将来の具体的なビジョンを考え、行動する。
国家試験合格に向けて衛生の細かい注意点などを学び、実技、筆記ともに目標を組み立て、実践していく。

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具、プロ道用ファイル、配布資料

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/16)	夢を実現するための3つの習慣について再度考える 目標設定(年間スケジュールの作成) 就職活動の面接練習について(1年次の復習) スタプロについて ベルリンピック実行委委員決定 シラバス確認	⑨ (6/18)	新社会人基礎力④ 「社会人基礎力」を高める 席替え 避難訓練について
② (4/23)	就職活動のマナーについて理解を深める 相モデルにて面接練習実施 個人面談について	⑩ (6/25)	国家試験を理解する③
③ (5/7)	国家試験を理解する① 4月の振り返り 面接練習対策	⑪ (7/2)	キャリアセンターマナー教育 ベルリンピック直前確認 6月の振り返り
④ (5/14)	個人面接練習実施(対職員)	⑫ (7/9)	新社会人基礎力⑤ 社会人として遵守すべき規範とは 次週からの席替え告知 ベルコンについて(コンセプトシート作成)
⑤ (5/21)	新社会人基礎力① 会社に入ること 席替え ベルリンピック準備(競技案、オープニングアクト案)	⑬ (7/23)	夏休み課題について 夏休みの過ごし方(個人面談について) 夏休み明けの席替え告知 7月の振り返り
⑥ (5/28)	国家試験について理解する② 地域清掃	⑭ (8/20)	新社会人基礎力⑥ 社会人としての自分を守り高める 就活未内定者ガイダンス ポートフォリオ整理
⑦ (6/4)	新社会人基礎力② 組織の中で働くということ 5月の振り返り	⑮ (8/27)	【定期試験】60 前期定期試験 国家試験について 新社会人基礎力から出題 前期振り返りと後期の目標設定の確認(8月の振り返り)
⑧ (6/11)	新社会人基礎力③ 自分を成長させるキャリアパス ベルリンピック準備(選手選出)		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

国家試験第二課題発表(11月)までに8割の内定を目指し、12月末までには全員就職内定を目指していく。早期内定を勝ち取ることで、国家試験に集中できる環境にしていく。

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅤ) A.カットテクニックⅡ (メンズカット・レディースカット)	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	林京平 葛西雄紀	講師 プロフィール	ONTHE林 道内外のコンテスト、フォトコンテスト受賞歴あり。デザインカット、カラーを得意とし多くのお客様から支持されている。トレンドビジョン2022年度ファイナリスト fika葛西 カラーデザインなどの講師活動経験あり 道内外のフォトコンテスト受賞歴あり。2018年北海道ヘアドレッシングアワードフューチャースター部門 準グランプリ獲得						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。
業界に必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。
また個性を磨く学びにより、1年次のカットの基礎技術を活かし、応用編のメンズカット、レディースカットができるようになる。

【学習内容】

ウィッグカット 場合によりカラーリングやパーマも行います

【使用教科書・教材・参考図書】

ip200S × 5体

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/15)	レディーススタイル ロング (顔まわりレイヤー バングなし)	⑨ (6/24)	メンズベリーショート(スパイキー or フェードカット パーバースタイル)
② (4/22)	レディースミディアム(レイヤーボブ バングあり)	⑩ (7/1)	メンズスタイルにパーマをかける パーマデザイン
③ (5/13)	レディースショート(くびれショート バングあり)	⑪ (7/8)	カラーリング ブリーチ カットスタイルにデザイン
④ (5/20)	メンズミディアム(センターパートウルフ)	⑫ (7/15)	カラーリング オンカラー
⑤ (5/27)	メンズショート(バングあり レイヤー)	⑬ (7/22)	学年末試験用ウィッグの仕込み(カラー、パーマ、コンセプトシート)
⑥ (6/3)	コンテストに向けて コンセプトの考え方 デザインの考え方を学ぶ	⑭ (8/19)	学年末試験用ウィッグの仕込み (カラー、パーマ、コンセプトシート)
⑦ (6/10)	授業内ミニベルコンテスト	⑮ (8/26)	学年末試験 フリーデザインスタイル
⑧ (6/17)	ミニベルコンテスト フィードバック	【成績評価の方法と基準】	
		●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

1年次カットテクニックを選択した学生は内容が重複する場合があります。
ご了承ください。

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅣ) A.クリエイティブカット&カラー	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60	時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生			
講師名	蓑島 竜二 大淵 滉平	講師 プロフィール	2007年zerohair入社、トップスタイリスト 社内技術指導担当、主にカットを指導しています ディーラー、メーカー、他サロンなどの外部講師も務める。コンテスト等にも積極的に参加し 受賞歴多数							

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。
業界に必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。
また個性を磨く学び、クリエイティブカット、クリエイティブカラーを学ぶことでベルコンで上位入賞を目指す。普段のサロンワークスタイルとはまた違ったクリエイティブスタイルを学び、美容師としてのスキルをあげる。

【学習内容】

クリエイティブなヘアスタイルをイメージし、自分なりのデザインやカラーを考え作れるようになる

【使用教科書・教材・参考図書】

ip200S×1体 ip150×3体 金髪×1体 カット ブロー スタイリング道具一式、カラー道具一式 筆記用具 ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

時間内にできなかった技術の習得

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/14)	持ち物、道具の確認 仕上げによるヘアスタイルの変化を理解できるようになる カット ip150 1	⑨ (6/23)	ヘアスタイルを考えカットできるようになる カット ip200S
② (4/21)	クリエイティブスタイル、サロンスタイルの違いを理解しデザインできるようになる カット ip150 1	⑩ (6/30)	スタイルに合わせたデザインカラーをできるようになる カラー ip200S
③ (5/12)	スタイルに合わせたブリーチワークとデザインカラーができるようになる カラー ip150 1	⑪ (7/7)	ヘアスタイルを考えカットできるようになる カット ip150 3
④ (5/19)	スタイルに合わせたデザインカラーとアクセントカラーができるようになる カラー ip150 1	⑫ (7/14)	スタイルに合わせたデザインカラーをできるようになる カラー ip150 3
⑤ (5/26)	ヘアスタイルに合わせたブローやスタイリング剤と道具の使い方、考え方を身につける カット ip150 1	⑬ (8/18)	イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー 金髪
⑥ (6/2)	イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー ip150 2	⑭ (8/25)	イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー 金髪
⑦ (6/9)	イメージしたものを事前にカラーで表現できるようになる カラー ip150 2	⑮ (9/1)	【定期試験】60 定期試験 時間内でのカットの正確さ、スタイリングの綺麗さ、デザイン性があるか、 テーマに沿ったヘアスタイルを考えカット～スタイリングをする カット 金髪
⑧ (6/16)	【到達目標】 中間テスト 習ったことを踏まえてカットスタイリングをする カット ip150 2		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

遅刻、欠席、忘れ物がないことが望ましく万が一の場合は事前に授業内容を把握しておく

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅣ) C.クリエイティブネイルテクニク	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	山本麻美	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、ネイルサロンPRISM代表、福祉ネイリスト、サロンスタッフ技術指導(新人研修外部講師)、検定審査、スクール講師など長年にわたり携わる						
【授業を通じての到達目標】									
業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。業界で必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。また個性を磨く学びにより、ネイルの知識、技術を学び、トータルで美を提供でき、提案できる美容師、アイリストになる。									
【学習内容】									
ジェルネイルの施術方法、色々なジェルアートの技法、アートチップの作成									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ネイル教材一式、ノート、筆記用具、色鉛筆など					デザインの参考資料準備など				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/14)	【到達目標】 ジェルネイルの基礎知識使用方法を理解し、テーブルセッティングができるようになる、ジェルカラーリングを覚える (ジェルの材料説明、ジェルネイルの基礎知識、注意事項、ジェル硬化時間、筆のおろし方など)				⑨ (6/23)	【到達目標】 季節に合わせたジェルアートができるようになる (アート説明、秋のデザインをチップに練習) 小テスト5点			
② (4/21)	【到達目標】 ジェルカラーリングとアートブラシの使い方を理解し、扱うことができるようになる (チップにベース、カラー「ワンカラー、グラデ」トップ、アートブラシの使い方説明、アートの練習)				⑩ (6/30)	季節に合わせたジェルアートができるようになる (アート説明、冬のデザインをチップに練習) 小テスト5点			
③ (5/12)	【到達目標】 チップにピーコックアートができるようになる、マーブルの作り方を覚える (説明、ピーコック作成、マーブルの練習) 小テスト5点				⑪ (7/7)	【到達目標】 雑誌やSNSなどからデザインを参考に、デザインを考案し、チップに施すことができるようになる (アート説明、チップに練習) 小テスト5点			
④ (5/19)	【到達目標】 爪にジェルを施す時の手順と注意事項を覚える (ファイル、サンディング、ドライケア、カラーリング、リムーブ説明、トレーニングコートの使い方、練習)				⑫ (7/14)	自分の爪にジェルアートができるようになる (説明、ジェルアート練習)			
⑤ (5/26)	【到達目標】 色々なジェルカラーリングの方法を覚え、できるようになる (アート説明、フレンチ、タイダイ柄、ベッコウ、大理石などチップに練習)				⑬ (8/18)	自分の爪にジェルアートができるようになる (説明、ジェルアート練習) 小テスト5点			
⑥ (6/2)	【到達目標】 色々なジェルカラーリングの方法を覚え、できるようになる (アート説明、ツイード、アニマル、チェックなどチップに練習) 小テスト5点				⑭ (8/25)	テーマに沿ったデザイン画を描くことができるようになる (定期試験に向けたデザイン画を作成し、アートの練習)			
⑦ (6/9)	【到達目標】 季節に合わせたジェルアートができるようになる (アート説明、春のデザインをチップに練習) 小テスト5点				⑮ (9/1)	【定期試験】60 デザイン画をもとに、テーマに沿ったアートチップの作成 (10本1セット作成)			
⑧ (6/16)	【到達目標】 季節に合わせたジェルアートができるようになる (アート説明、夏のデザインをチップに練習) 小テスト5点				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物をしない 授業前までにテーブルセッティングを済ませておく									

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅢ) A.サロンプロデュース	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	伊藤元気 佐々木優斗	講師 プロフィール	ウェルジャパン株式会社に入社して12年目になります。現在は新札幌にあるPD VISEO Smart Salonの店長です！ペルエポック講師8年目になります！						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。現場で活躍する美容師からリアルなサロンワークを学ぶことで、アシスタント力を身に付ける。2年次のサロンワークではシャンプーもよりハイレベルな技術を提供できるようになることと、サロンワークでのヘルプ業務についても学び、将来のサロンワークで活かしていくことはもちろん、就職活動でのサロンワーク試験でも積極的に動ける知識、スキル、人間力を身に付ける。

学習内容

サロン実習で役立つ技術&アシスタントとしての考え方、技術を身に着ける

【使用教科書・教材・参考図書】

ip200S×3体
ip150×2体

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/14)	自己紹介、アイスブレイク	⑨ (6/23)	シャンプースタイリング/カラー
② (4/21)	パーマ、パーマヘルプ(女性)合同	⑩ (6/30)	シャンプースタイリング/カラー
③ (5/12)	パーマ、パーマヘルプ(女性)合同	⑪ (7/7)	シャンプースタイリング/カラー
④ (5/19)	パーマ、パーマヘルプ(男性)合同	⑫ (7/14)	シャンプースタイリング/カラー
⑤ (5/26)	パーマ、パーマヘルプ(男性)合同	⑬ (8/18)	シャンプースタイリング/カラー
⑥ (6/2)	パーマ、パーマヘルプ(人頭)合同	⑭ (8/25)	カラー相モデル合同
⑦ (6/9)	パーマ、パーマヘルプ(人頭)合同	⑮ (9/1)	カラー相モデル合同
⑧ (6/16)	シャンプースタイリング/カラー	【成績評価の方法と基準】	
		●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容総合 (スタイリング・アレンジⅡ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	三谷綾佳	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校での講師、更に世界4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。

業界に必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。

また個性を磨く学びにより、美容師として必要なスタイリング力、ヘアセット技術ができるのはもちろん、1年次より高い技術力で応用力のあるスタイリングアレンジができるようになる。

【学習内容】

トレンドやブライダルなどの様々なイメージに合わせてヘアセットを学ぶことができる

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘア道具一式、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① 4/15	【到達目標】小テスト2点 巻き髪	⑨ 6/24	【到達目標】小テスト3点 ルーズ ツイン
② 4/22	【到達目標】小テスト3点 ハーフアップ	⑩ 7/1	【到達目標】小テスト3点 リボン、ハート、お花
③ 5/13	【到達目標】小テスト3点 タイト まとめ髪	⑪ 7/8	【到達目標】小テスト3点 アイドルヘア
④ 5/20	【到達目標】小テスト3点 ルーズ まとめ髪	⑫ 7/15	【到達目標】小テスト3点 成人式ヘア
⑤ 5/27	【到達目標】小テスト3点 タイト ポニーテール、編みおろし	⑬ 7/22	【到達目標】小テスト3点 やってみたいヘアスタイル
⑥ 6/3	【到達目標】小テスト3点 ルーズ ポニーテール、編みおろし	⑭ 8/19	【到達目標】小テスト3点 定期テスト練習
⑦ 6/10	【到達目標】中間チェック5点 ブライダルヘア(アクセサリもつける)	⑮ 8/26	【定期試験】60点 定期テスト
⑧ 6/17	【到達目標】小テスト3点 タイト ツイン	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅢ) C.ファッション	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	中村貴子 渋谷海	講師 プロフィール	ベルエポック卒業後、美容室に勤務。ブライダル、テレビ局ヘアメイクを学ぶ。その後ブライダルサロンで勤務後、フリーランスとして活動。現在はアイリストをしながら婚礼のヘアメイク等行う。						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。
 業界で必要な技術と知識を身に付け、即戦力になるアシスタント力を身に付ける。
 また個性を磨く学びにより、前半はファッションの知識を身に付け、ヘアからファッションまでトータルでアドバイスできる美容師(アイリスト)になる。後半はドレス、ブライダル業界について学ぶことで、ブライダル業界でも活躍できる美容師になる。

【学習内容】

ブライダルの基礎を学び、現場で困らない様、知識、技術を身につける。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

事前準備(ヘアメイク道具の準備) 道具のお手入れ

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (/)	ファッション	⑨ (6/23)	相モデルでヘアセット。ドレスの着せ方を学ぶ。
② (/)	ファッション	⑩ (6/30)	ブライダルメイク。ハイライトののせ方、パーソナルカラーを学び、似合わせメイクをできるようになる。婚礼スケジュールを学ぶ。
③ (/)	ファッション	⑪ (7/11)	ウィッグでお色直し、和装ヘアを学ぶ。和装の知識を学ぶ。
④ (/)	ファッション	⑫ (7/14)	相モデルでテーマを決めてヘアメイクを行う。
⑤ (/)	ファッション	⑬ (8/18)	メイクの歴史について学ぶ。つけまつ毛をつけられるようになる。
⑥ (/)	ファッション	⑭ (8/25)	定期テストに向けて相モデルでヘアメイクを行う。
⑦ (/)	ファッション	⑮ (9/1)	定期試験 相モデルでテーマを考えてヘアメイク(60分)を行う。
⑧ (6/16)	自己紹介。ドレスのライン、小物の説明。ウィッグでワンスタイル作り、飾りの付け方を学ぶ。		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

技術を行う際は立って行う。進み具合により、授業内容の変更もあります。そ

講義シラバス

科目名	美容総合(カスタマイズⅢ) B.ヘアメイク	必修 選択の別	選択必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	美容師科	コース				学年	2年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイク専攻サロン経営。テレビ番組・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						

【授業を通じての到達目標】

業界で活躍する美容師(アイリスト)になるために、最新の美容技術、感性、トレンドを兼ね備えた個性を確立。
美容師として必要なヘアセットスキル、メイクスキルを身に付け幅広い美容技術を習得し、実践できるようになる。また作品撮りのポイントを知る。

【学習内容】

基礎から応用まで幅広くヘアメイクを学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘア道具一式・メイク道具一式・筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

事前準備(授業前に準備)・期日までの課題提出

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/14)	オリエンテーション 自己紹介・将来について・道具確認・メイクの仕上がりを左右する保湿 & マッサージが出来るようになる	⑨ (6/23)	成人式メイク(パール・ラメ・リボン)
② (4/21)	相モデルへ可愛らしいメイクを行う	⑩ (6/30)	成人式ヘアセット(パール・ラメ・リボン)
③ (5/12)	かっこいい雰囲気メイクを相モデルへ行う	⑪ (7/7)	成人式ヘアメイクを相モデルへ行う
④ (5/19)	編み込みを使ったヘアアレンジをウイッグで作る	⑫ (7/14)	フェイスチャートに色をのせカラーバランスやメイクのイメージを付ける
⑤ (5/26)	やってみたいアレンジをウイッグで作る	⑬ (8/18)	フェイスチャートに色をのせカラーバランスやメイクのイメージを付ける
⑥ (6/2)	ブライダルメイク(洋装)	⑭ (8/25)	定期試験に向け練習
⑦ (6/9)	ブライダルメイク(和装)	⑮ (9/1)	定期試験・作品撮り(携帯撮影)
⑧ (6/16)	ブライダルヘアメイクを相モデルへ行う	【成績評価の方法と基準】	
		●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする